**様式第１号**

申込日：令和　　年　　月　　日

**災害救助法の住宅の応急修理申込書**

延岡市長　様

　住宅の応急修理を実施されたく申し込みます。

　なお、住宅の応急修理の申込みに関して、世帯員の収入、世帯構成を市の担当者が調査・確認することに同意します。

【被害を受けた住宅の所在地】

【現在の住所】

【現在の連絡先（ＴＥＬ）】　　　　　　　　　　（自宅・携帯・勤務先・その他）

【生年月日】 明治・大正・昭和・平成　　年　　月　　日生（　　歳）

【氏　　名】 　　　　　　　印（自署の場合は押印省略可）

**１　被災日**　　　　　令和　　年　　月　　日

**２　災害名　　　　　　令和４年台風第１４号**

**３　住宅の被害の程度**（「り災証明書」に基づき、被害の程度に“○”を付けてください。）

* 全壊　　・　大規模半壊　　・　中規模半壊　　・　半壊　　・　準半壊

**４　被害を受けた住宅の部位**（※該当箇所に○をつけてください。）

**・**　屋根　　　　**・**　サッシ　　　　**・**　柱　　　　　**・**　上下水道の配管

**・**　床　　　　　**・**　ガスの配管　　**・**　外壁　　　　**・**　給排気設備の配管

**・**　基礎　　　　・　梁　　　　　　**・**　電気、電話線、テレビ線の配線

**・**　トイレ　　　**・**　ドア　　　　　・　浴室　　　　**・**　窓

**・**　その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

* ｢住宅の被害状況に関する申出書｣（様式第２号）で修理対象箇所を記入してください。

（添付書類）

受付欄

　・「住宅の応急修理」申込チェックシート

・住宅の被害状況に関する申出書（様式第２号）

・り災証明書の写し

・施工前の被害状況が分かる写真

・資力に関する申出書（様式第３号）※中規模半壊以下の場合

・修理見積書（様式第４号）※後日提出可だが、工事実施前に必要

・所有者の同意書（様式第９号）※借家の場合

　・その他市が求める書類

市町村にて受付日・受付番号を記載

**様式第２号**

**住宅の被害状況に関する申出書**

**（住宅の応急修理に関する参考資料）**

令和　　年　　月　　日

延岡市長　様

住所

氏名

※　災害救助法に基づく住宅の応急修理制度とは、**自らの資力で**修理を行うことができず、当面の日常生活に**最低限必要な場所を確保できない方**に対して、**必要最小限の修理**を行うものです。

**１　応急修理対象箇所について**

　　修理を希望する箇所は以下の部分です。

　　※　この制度で修理できる部分は、日常生活に欠かせない居室（居間・寝室）・

　　　炊事室・便所・浴室これらをつなぐ廊下です

修理対象箇所　※該当する箇所に“○”を記入

　居間　・　寝室　・　炊事室　・　便所　・　浴室　・　その他（　　　　　　　）

**２　床について　１**の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

　（※　床の構造は、床組（床の骨組み）＋床の下地板＋表面の仕上材からなってい

ます。）

□　床組　または　下地板　が壊れている。

□　下地材が吸水により変形、床下の湿気・悪臭・汚損がある。

□　仕上材のみの不具合　→　制度の対象外です。

**３　壁について　１**の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

|  |  |
| --- | --- |
| （※壁の構造は、 | ①　柱・はり＋下地材＋表面材（壁紙など） |
|  | ②　柱・はり＋仕上板（プリント合板・板など） |
|  | ③　柱・はり＋竹組下地＋塗仕上げ　　　からなっています。） |

□　柱・はり　または　下地板　が壊れている。

□　下地板・仕上板が吸水により変形しており、日常生活に支障がある。

□　下地板・仕上板が吸水により湿気・悪臭・汚損があり、日常生活に支障がある。

□　壁紙がはがれているのみ　→　制度の対象外です。

**４　屋根について　１**の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

　（※屋根の構造は、小屋組＋屋根の下地材＋表面の仕上材からなっています。）

□　屋根の下地材　が壊れている。

□　雨漏りにより、天井・内壁・床に大きな被害があり、１室以上を使用できない。

□　屋内に浸水した痕跡がみられない、浸水被害が軽微　→　制度の対象外です。

**５　その他（自由記述欄）１**の修理部分の各箇所の状態は以下のとおりです。

**様式第３号**

**資力に関する申出書**

　延岡市長　様

　私、　　　　　　　　　　　　　　　　　　　は、**（　令和４年台風第１４号　）**のため、住家が（　大規模半壊　・　中規模半壊　・　半壊　・　準半壊　）しております。

　住家を修理する資力が下記の理由のとおり不足するため、応急修理を実施していただきますようお願いします。

記

※世帯の収入の状況、資力が不足する理由を具体的にご記入ください。

令和　　年　　月　　日

申出者　　　被害を受けた住宅の所在地

現住所

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　（自署による場合は押印省略可）

様式第９号

**借家の応急修理に係る所有者の同意書**

　延岡市長　様

　私が所有する下記の物件について、修理を行うことができませんので、災害救助法に基づく住宅の応急修理を行うことに同意します。

記

１　対象住宅の所在地、物件名、居室番号

２　所有者が修理を行うことができない理由

※借家等は通常はその所有者が修理を行うものであるため、修理を行うことができない理由を

詳しく記入してください。

令和　　年　　月　　日

（所有者）

住　所

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　印

　上記借家の応急修理が完了し生活が可能となった場合は、当該借家に

居住します。

令和　　年　　月　　日

（被災者）

住　所

氏　名　　　　　　　　　　　　　　　印

　　　　　（自署による場合は押印省略可）

|  |  |
| --- | --- |
| 受付番号 | 第　　　　　号 |
| 申込者 |  |

※受付後は最後に綴ってください。

**「住宅の応急修理」申込チェックシート**

**【必要書類】**

○ 必要書類はそろっていますか？　※順番どおりに綴ってください。

□　本申込チェックシート

□　申込書（※申込書は「り災証明書」の世帯主になっていますか？）

　□　住宅の被害状況に関する申出書（様式第２号）

□　り災証明書（写し）

□　**施工前の被害状況が分かる写真**

□　資力に関する申出書（様式第３号）※中規模半壊以下の場合

□　修理見積書（様式第４号）

※後日提出も可ですが、工事実施依頼前までには必要となります。

　□　借家の応急修理に係る所有者の同意書（様式第９号）※借家の場合

□　その他市が求める書類（工事費の振込先口座番号など。市に確認してください。）

**【対象者要件】**

○「被害の状況」はどれに該当しますか？（り災証明書を確認）

　□　全壊　　　□　大規模半壊　　　□　中規模半壊

□　半壊　　　□　準半壊

－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－－

**【修理見積書依頼状況】**

□　依頼済・・・・・・・・・・・・・・分かる範囲で記載

□　未依頼（修理業者の当てはある）

□　未依頼（修理業者を探している段階）

|  |
| --- |
| 修理業者名：  修理業者への応急修理の説明：　未　　　　済  （対象工事、写真撮影、手続の流れ、債権者登録等の説明を忘れずに）  工事完了：　　済　　　　、工事中：　　　　　頃に着工、　　未定 |

|  |  |
| --- | --- |
| 受付担当者 |  |